



OASE Operation Autonomy Support Engine

クイックスタート

※本書では「Operation Autonomy Support Engine」を「OASE」として記載します。

Exastro Operation Autonomy Support Engine Version 1.3.1
Exastro developer

目次

1. はじめに

- 1.1 クイックスタートについて
- 1.2 画面説明_ログイン
- 1.3 画面説明_Dashboard
- 1.4 画面説明_アクション設定
- 1.5 画面説明_トークン払い出し
- 1.6 画面説明_ディシジョンテーブル
- 1.7 画面説明_ルール
- 1.8 画面説明_リクエスト履歴
- 1.9 画面説明_アクション履歴

2. シナリオ説明

- 2.1 本書のシナリオ

3. 事前設定

- 3.1 メールドライバの設定とメールテンプレートの作成
- 3.2 トークンの払い出し
- 3.3 ディシジョンテーブル作成

4. 作業実行

- 4.1 ディシジョンテーブルファイル作成 ※エクセル操作
- 4.2 ディシジョンテーブルファイルのアップロード
- 4.3 テストリクエスト
- 4.4 プロダクション適用
- 4.5 curlコマンドによるリクエスト送信
- 4.6 アクション実行結果（アクション履歴）の確認

5. 付録

1. はじめに



1.1 クイックスタートについて (1/3)

まえがき

- 本稿は、Exastro Operation Autonomy Support Engine (OASE)のインターフェースをスムーズに体感頂くためご用意しましたるものとなります。
- OASEではいくつかのソフトウェアと連携が可能ですが、それらの中で設定が簡易であるメールソフトとの連携を体感頂けます。
- また OASEは「監視アダプタによるキック」および「ITAと連動したアクション実行」といった重要な機能を提供していますが、クイックスタートではスムーズに体感頂くために、敢えてこれらの機能の活用を割愛しています。

1.1 クイックスタートについて (2/3)

前提

OASEおよび以下の機能が導入済みであること

① OASEインストールについては以下を参照

- <[OASE Docs 環境構築マニュアル - 基本編](#)>
- <[OASE Learn - OASEを導入しよう オンラインインストール編](#)>

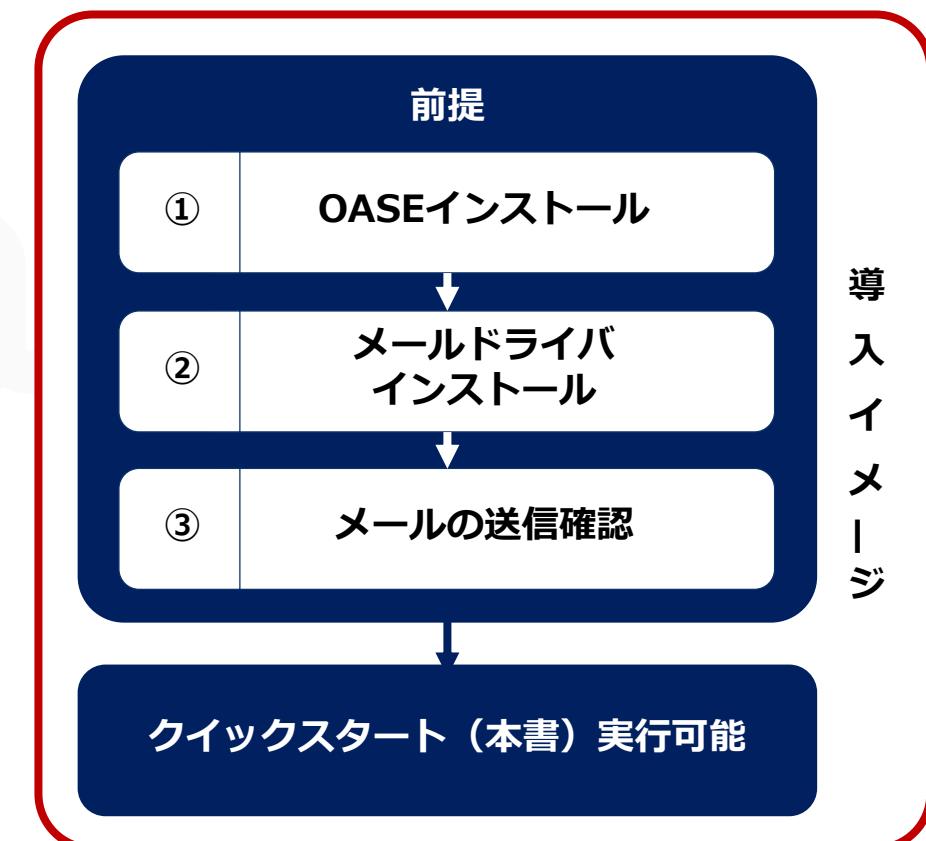
② メールドライバインストールについては以下を参照

- <[環境構築マニュアル - ドライバインストール編](#)>

③ メールサーバに接続できること

- 例) mailx によるメール送信の確認

```
# echo "Hello. This is mail body." | mail -s "This is mail title." ¥
-S smtp://XXX.XXX.XXX.XXX:YY ¥
-r from@example.com to@example.com
```

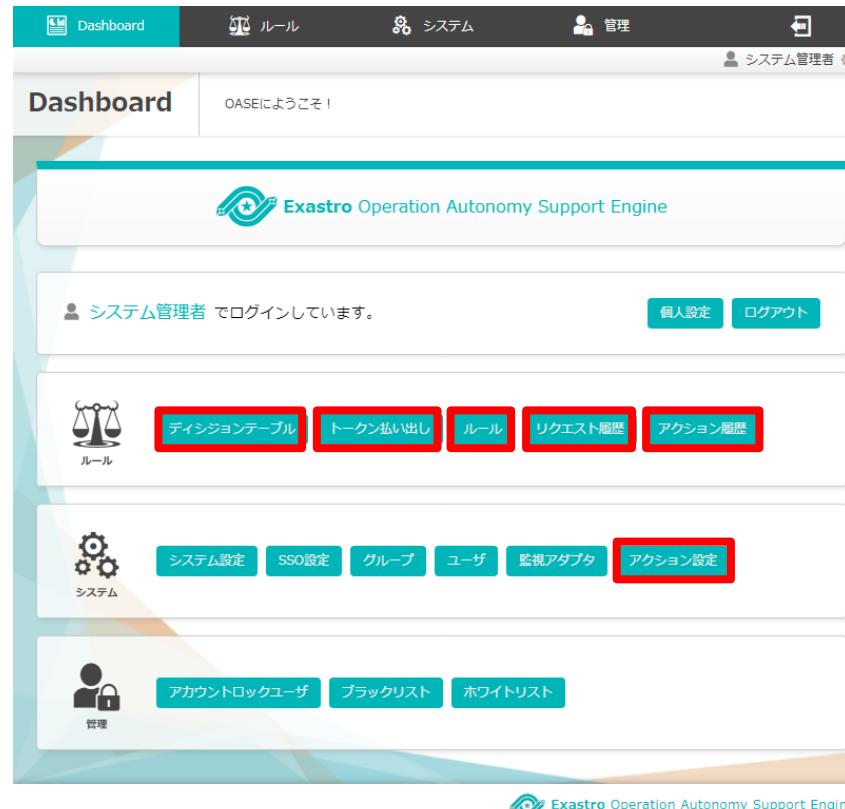


1.1 クイックスタートについて (3/3)

使用する機能について

- 本書ではOASEの以下機能（画面）を用いる（項番は以降のスライドと紐付く）

- Dashboard画面

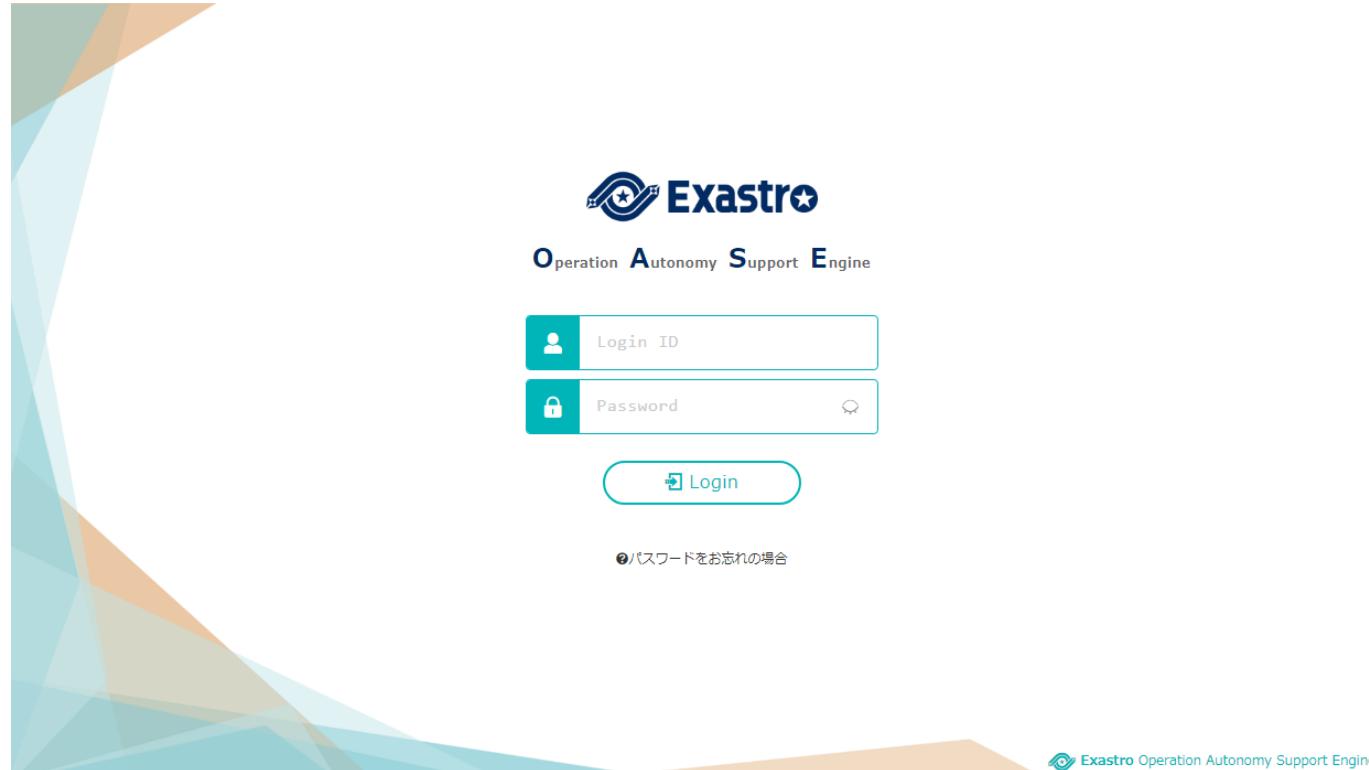


項目番号	画面名称	画面アクセス
1.2	ログイン	
1.3	Dashboard	Dashboard
1.4	アクション設定	システム > アクション設定 > mail Driver ver1
1.5	トーケン払い出し	ルール > トーケン払い出し
1.6	ディシジョンテーブル	ルール > ディシジョンテーブル
1.7	ルール	ルール > ルール > ステージング適用ルール
		ルール > ルール > プロダクション適用ルール
1.8	リクエスト履歴	ルール > リクエスト履歴
1.9	アクション履歴	ルール > アクション履歴

1.2 画面説明_ログイン

OASEログイン

- OASE導入後、以下のURLへアクセスするとログイン画面が表示される
[https://\[OASEのホスト名 or IPアドレス\]/oase_web/top/login](https://[OASEのホスト名 or IPアドレス]/oase_web/top/login)



POINT

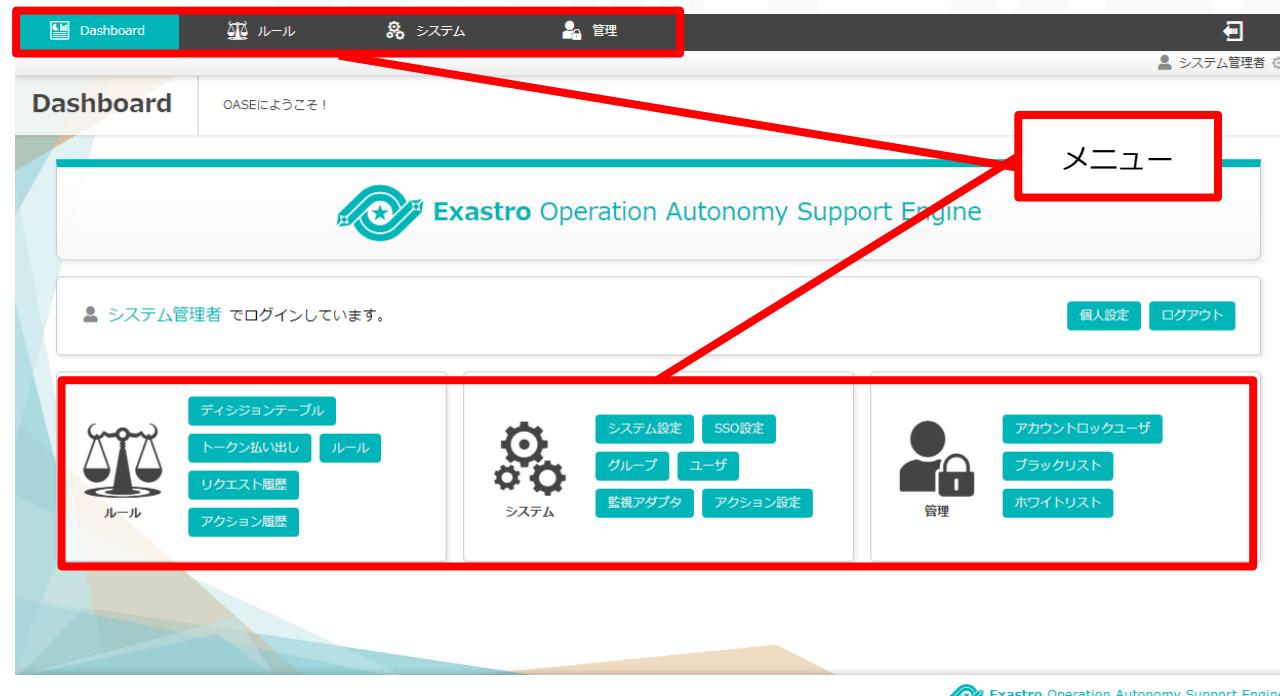
初回ログイン時はログイン直後に
パスワード変更を求められます

1.3 画面説明_Dashboard

Dashboard

基本的なメニューの概要

- 「ルール」メニュー : ルール作成やアクション結果を管理
- 「システム」メニュー : OASE全般や各種設定・権限を管理
- 「管理」メニュー : セキュリティ関連を管理



POINT

各メニューの詳細はマニュアルを参照してください

1.4 画面説明_アクション設定

システム > アクション設定 > mail Driver ver1

機能説明

- ① OASEにインストール済のドライバ名
- ② アクション先として登録されている情報の一覧
- ③ インストール済のドライバにアクション先の情報を追加するボタン
- ④ メールテンプレートを作成するボタン

The screenshot shows the 'Actions Settings' page for the 'mail Driver ver1' driver. The top navigation bar includes 'Dashboard', 'Rules', 'Systems' (selected), and 'Management'. The right side of the header has a user profile and settings. The main content area has tabs for 'ITA Driver ver1' and 'mail Driver ver1' (highlighted with a red box and labeled ①). Below is a table listing actions (highlighted with a red box and labeled ②). The table columns are: 操作 (Action), 名前 (Name), プロトコル (Protocol), smtpサーバ (smtp Server), ポート (Port), ユーザ名 (User Name), 最終更新者 (Last Updated By), and 最終更新日時 (Last Updated Date). The table contains four rows of data. At the top right of the table is a 'メールテンプレート' (Email Template) button (labeled ④). At the bottom right of the table is a 'アクション先の追加' (Add Action Target) button (labeled ③).

操作	名前	プロトコル	smtpサーバ	ポート	ユーザ名	最終更新者	最終更新日時
[Icon]	oasetest	smtp	0.0.0.0	25	sample@example.com	システム管理者	2020年4月6日13:11
[Icon]	oasetest_A	smtp	0.0.0.0	25	sampleA@example.com	システム管理者	2020年4月6日13:47
[Icon]	oasetest_B	smtp	0.0.0.0	25	sampleB@example.com	システム管理者	2020年4月6日13:46
[Icon]	oasetest_C	smtp	0.0.0.0	25	sampleC@example.com	システム管理者	2020年4月6日13:46

POINT

各メニューの詳細はマニュアルを参照してください

1.5 画面説明_トークン払い出し

ルール > トークン払い出し

機能説明

- ① OASEに登録済みのトークンの一覧
- ② 新規にトークンを作成するボタン

操作	トークン名	利用開始日	利用終了日	最終更新者	最終更新日時
	test_token	2021年 05月 19日 10:14		システム管理者	2021年 05月 19日 10:14

POINT

各メニューの詳細はマニュアルを参照してください

1.6 画面説明_ディシジョンテーブル

ルール > ディシジョンテーブル

機能説明

- ① OASEに登録済のディシジョンテーブルの一覧
- ② ディシジョンテーブルファイルのダウンロードボタン
- ③ 新規追加画面に遷移し、ディシジョンテーブルを作成するボタン

The screenshot shows the 'Decision Table' list page. At the top, there is a navigation bar with tabs: Dashboard, ルール (selected), システム, and 管理. On the right side of the header, there is a user profile and settings icon. Below the header, the title 'ディシジョンテーブル' is displayed. The main area contains a table with three columns: '操作' (Actions), 'ディシジョンテーブル名' (Decision Table Name), '最終更新者' (Last Updated By), and '最終更新日時' (Last Updated Date). The table lists four entries: 'test' (updated by System Administrator on May 21, 2021, 15:48), 'test_01' (updated by System Administrator on May 21, 2021, 14:10), 'test_o2' (updated by System Administrator on May 21, 2021, 14:10), and 'test_03' (updated by System Administrator on May 21, 2021, 14:11). Each row has a set of icons in the '操作' column: a magnifying glass for search, a download icon for download, and a pencil icon for edit. A red box labeled ② surrounds the '操作' column. A red box labeled ① surrounds the entire table area. A red box labeled ③ surrounds the '新規追加' (New Addition) button in the top right corner of the table area.

操作	ディシジョンテーブル名	最終更新者	最終更新日時
[Search, Download, Edit]	test	システム管理者	2021年 05月 21日 15:48
[Search, Download, Edit]	test_01	システム管理者	2021年 05月 21日 14:10
[Search, Download, Edit]	test_o2	システム管理者	2021年 05月 21日 14:10
[Search, Download, Edit]	test_03	システム管理者	2021年 05月 21日 14:11

POINT

各メニューの詳細はマニュアルを参照してください

1.7 画面説明_ルール (1/2)

ルール > ルール > ステージング適用ルール

機能説明

- ① ディシジョンテーブルファイルを操作するボタン
- ② アップロードしたディシジョンテーブルファイルとそのステータスの一覧
- ③ ステージングからプロダクションへの適用ボタン

The screenshot shows the 'Staging Application Rule' screen. At the top, there are buttons for 'Test Request' (with a checkmark), 'File Selection' (disabled), 'Upload' (disabled), and 'Show History'. Below is a table listing rules:

操作	ディシジョンテーブル名	ルールファイル	運用ステータス	作業ステータス	最終更新者	最終更新日時
	test_03	mail_test_03.xlsx	検証完了	ステージング適用完了	システム管理者	2021年 05月 24日 19:14
	test_02	mail_test_02.xlsx	検証未実施	ステージング適用完了	システム管理者	2021年 05月 24日 19:13
	test_01	mail_test_01.xlsx	検証未実施	ステージング適用完了	システム管理者	2021年 05月 24日 19:13
	test	mail_test.xlsx	検証完了(プロダクション適用済み)	ステージング適用完了	システム管理者	2021年 05月 21日 15:47

At the bottom left, there is a green button labeled 'Production Application Rule'.



POINT

各メニューの詳細はマニュアルを参照してください

- ①でディシジョンテーブルファイルをステージング環境にアップロードしテストリクエストを実施の結果、運用可能なルールであると検証が完了した場合（②のステータス次第）、③の適用ボタンが有効になる。

1.7 画面説明_ルール (2/2)

ルール > ルール > プロダクション適用ルール

機能説明

- ① OASEにメッセージが飛んできたとき実際に運用されることが決定したルールの一覧

操作	ディシジョンテーブル名	ルールファイル	運用ステータス	作業ステータス	最終更新者	最終更新日時
Import	test_03	mail_test_03.xlsx	検証完了	ステージング適用完了	システム管理者	2021年 05月 24日 19:14
Import	test_o2	mail_test_02.xlsx	検証未実施	ステージング適用完了	システム管理者	2021年 05月 24日 19:13
Import	test_01	mail_test_01.xlsx	検証未実施	ステージング適用完了	システム管理者	2021年 05月 24日 19:13
Import	test	mail_test.xlsx	検証完了(プロダクション適用済み)	ステージング適用完了	システム管理者	2021年 05月 21日 15:47

操作	ディシジョンテーブル名	ルールファイル	適用ステータス	作業ステータス	最終更新者	最終更新日時
Import	test	mail_test.xlsx	プロダクション適用	プロダクション適用完了	システム管理者	2021年 05月 21日 15:48

POINT

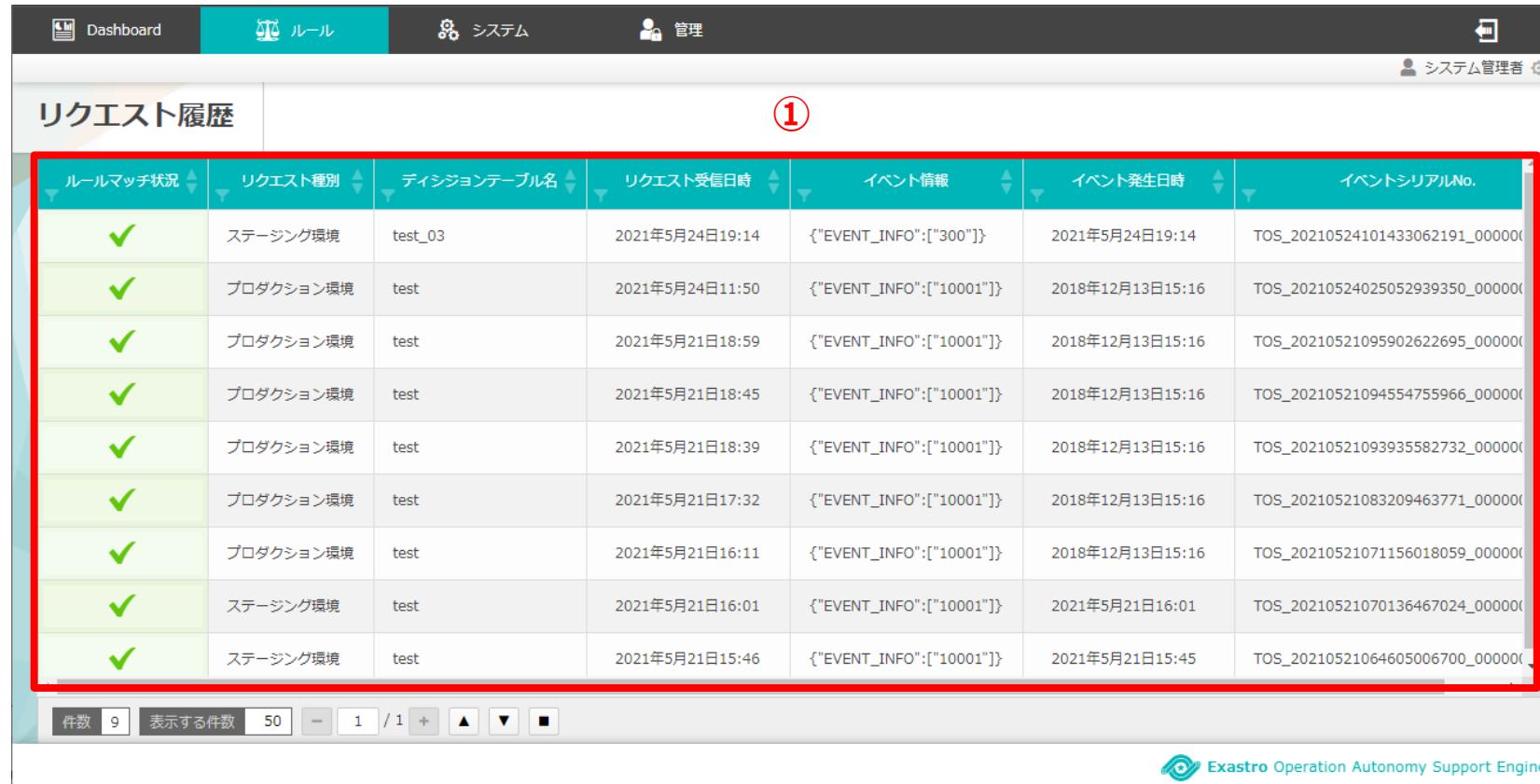
各メニューの詳細はマニュアルを参照してください

1.8 画面説明_リクエスト履歴

ルール > リクエスト履歴

機能説明

① マッチしたルールとそのステータス一覧



The screenshot shows the 'Request History' page with a table listing nine rows of data. The first column, 'Rule Match Status', contains green checkmarks. The second column, 'Request Type', lists 'Staging environment', 'Production environment', and 'Test'. The third column, 'Table Name', lists 'test_03' and 'test'. The fourth column, 'Request Received Date', shows dates from May 21 to May 24. The fifth column, 'Event Information', contains JSON objects like {"EVENT_INFO": ["300"]} and {"EVENT_INFO": ["10001"]}. The sixth column, 'Event Occurred Date', shows dates from December 13 to May 24. The seventh column, 'Event Serial Number', shows unique identifiers starting with TOS_. The entire table is highlighted with a red border.

ルールマッチ状況	リクエスト種別	ディシジョンテーブル名	リクエスト受信日時	イベント情報	イベント発生日時	イベントシリアルNo.
✓	ステージング環境	test_03	2021年5月24日19:14	{"EVENT_INFO": ["300"]}	2021年5月24日19:14	TOS_20210524101433062191_000000000000
✓	プロダクション環境	test	2021年5月24日11:50	{"EVENT_INFO": ["10001"]}	2018年12月13日15:16	TOS_20210524025052939350_000000000000
✓	プロダクション環境	test	2021年5月21日18:59	{"EVENT_INFO": ["10001"]}	2018年12月13日15:16	TOS_20210521095902622695_000000000000
✓	プロダクション環境	test	2021年5月21日18:45	{"EVENT_INFO": ["10001"]}	2018年12月13日15:16	TOS_20210521094554755966_000000000000
✓	プロダクション環境	test	2021年5月21日18:39	{"EVENT_INFO": ["10001"]}	2018年12月13日15:16	TOS_20210521093935582732_000000000000
✓	プロダクション環境	test	2021年5月21日17:32	{"EVENT_INFO": ["10001"]}	2018年12月13日15:16	TOS_20210521083209463771_000000000000
✓	プロダクション環境	test	2021年5月21日16:11	{"EVENT_INFO": ["10001"]}	2018年12月13日15:16	TOS_20210521071156018059_000000000000
✓	ステージング環境	test	2021年5月21日16:01	{"EVENT_INFO": ["10001"]}	2021年5月21日16:01	TOS_20210521070136467024_000000000000
✓	ステージング環境	test	2021年5月21日15:46	{"EVENT_INFO": ["10001"]}	2021年5月21日15:45	TOS_20210521064605006700_000000000000

POINT

各メニューの詳細はマニュアルを参照してください

1.9 画面説明_アクション履歴

ルール > アクション履歴

機能説明

① マッチしたルールとそのステータス一覧

The screenshot shows a user interface for managing rules. At the top, there is a navigation bar with tabs: Dashboard, ルール (selected), システム, and 管理. On the right side of the header, there is a user profile icon labeled 'システム管理者' and a settings gear icon. Below the header, the main content area has a title 'アクション履歴'. A red circle with the number '1' is placed above the table header. The table has columns: 状態 (Status), 操作 (Operations), デイシジョンテーブル名 (Decision Table Name), ルール名 (Rule Name), アクション種別 (Action Type), 最終実行日時 (Last Execution Date), and 最終実行者 (Last Executor). The table contains six rows, each representing a match for rule 'ruleA' with action type 'mail(ver1)'. All entries show a green checkmark in the status column and were last executed by 'アクションドライバープロシージャ' on May 24, 2021, at 11:51. The table footer includes pagination controls: 件数 6 表示する件数 50, and navigation icons.

状態	操作	デイシジョンテーブル名	ルール名	アクション種別	最終実行日時	最終実行者
✓		test	ruleA	mail(ver1)	2021年 05月 24日 11:51	アクションドライバープロシージャ
✓		test	ruleA	mail(ver1)	2021年 05月 21日 18:59	アクションドライバープロシージャ
✓		test	ruleA	mail(ver1)	2021年 05月 21日 18:45	アクションドライバープロシージャ
✓		test	ruleA	mail(ver1)	2021年 05月 21日 18:39	アクションドライバープロシージャ
✓		test	ruleA	mail(ver1)	2021年 05月 21日 17:32	アクションドライバープロシージャ
✓		test	ruleA	mail(ver1)	2021年 05月 21日 16:12	アクションドライバープロシージャ

POINT

各メニューの詳細はマニュアルを参照してください

2. シナリオ説明

2.1 本書のシナリオ

OASEインストール後からアクション履歴が詰まるまでのシナリオ



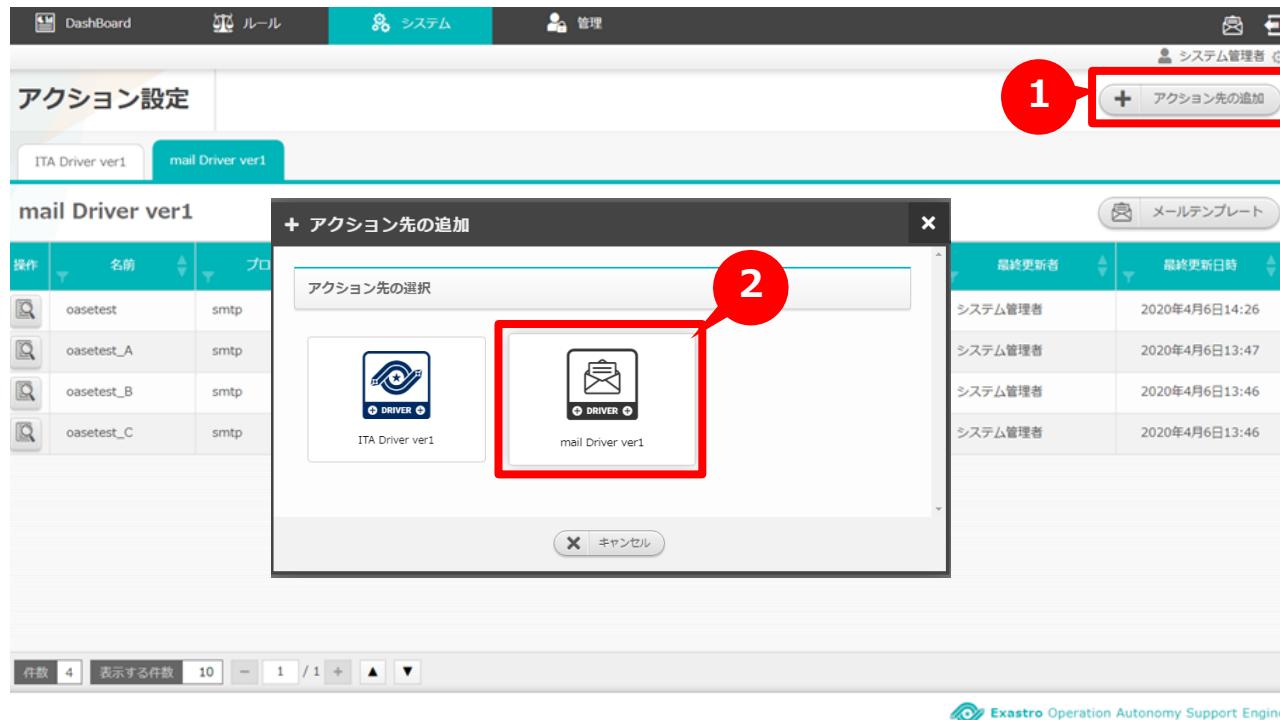
3. 事前設定



3.1 メールドライバの設定とメールテンプレートの作成(1/3)

アクション先の追加

- ① 「アクション設定」画面上の「アクション先の追加」ボタンを押下
- ② 「アクション先の選択」欄で「mail Driver ver1」を選択



※ ドライバをインストールしていない場合、上記の画面は表示されません。

メールドライバの設定と
メールテンプレートの作成

トークンの払い出し

ディシジョンテーブル作成

ディシジョンテーブルファイル作成 ※エクセル操作

ディシジョンテーブルファイルの
アップロード

テストリクエスト

プロダクション適用

curlコマンドによるリクエスト送信

アクション実行結果の確認

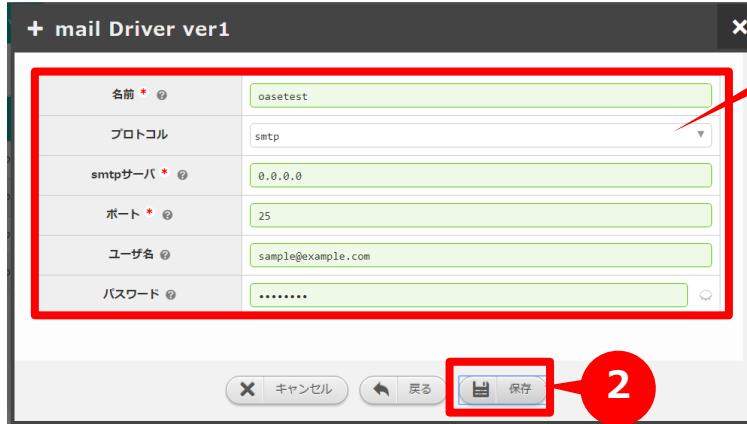
POINT

事前に<[環境構築マニュアル - ドライバインストール編](#)>を参照のうえメールドライバをインストールしてください。

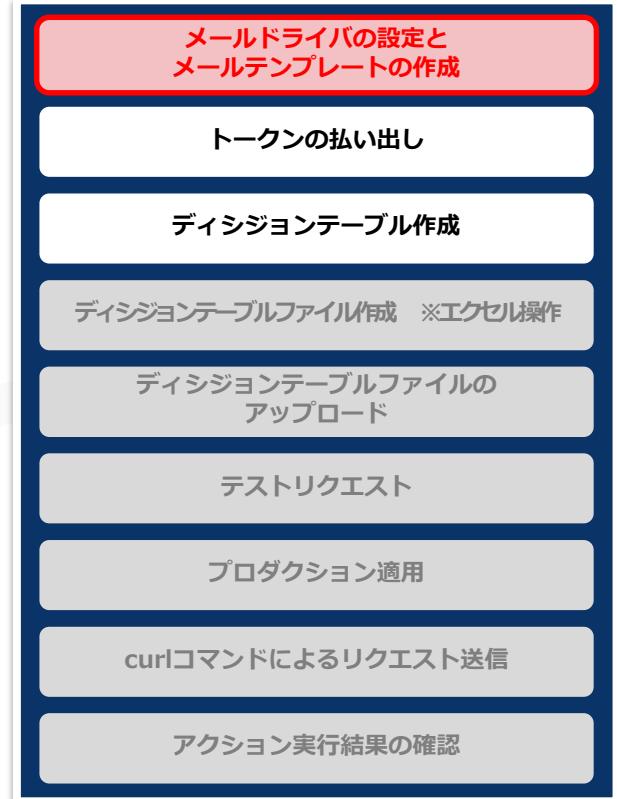
3.1 メールドライバの設定とメールテンプレートの作成(2/3)

アクション先の設定

- ① 「mail Driver ver1」画面の必要情報を入力
- ② 「保存」ボタンを押下



1 以下の値を入力する	
項目	設定値
名前	(任意の文字列)
プロトコル	「smtp」または「smtp_auth」を選択
SMTP サーバ	(プライベートIPもしくはグローバルIPを入力 ※前提としてSMTPサーバが用意されていること)
ポート	(通信に用いるポート番号を入力)
ユーザ名	(空白可、メールの送信元となるユーザ名を入力)
パスワード	(空白可、認証に必要なパスワードを入力)



POINT

「名前」は後述する<[4.1 ディシジョンテーブルファイル作成](#)>時に「どのアクション先に対してアクション実行するのか」指定するために必要です。

POINT

「ユーザ名」はメールの送信元として表示されます。

POINT

* のつく項目は入力必須です。

3.1 メールドライバの設定とメールテンプレートの作成(3/3)

メールテンプレートの作成

- ① 「メールテンプレート」ボタンを押下
- ② 「新規追加」ボタンを押下
- ③ 「メールテンプレート新規追加」画面で必要情報を入力
- ④ 「保存」ボタンを押下



POINT

「テンプレート名」は、後述する<[4.1 ディシジョンテーブルファイル作成](#)>時に、どのメールテンプレートを使用するか指定するために必要です。

「本文」に[ACTION_INFO]および[EVENT_INFO]タグを使用することで、「リクエスト情報」および「イベント情報」が記載されたメールを受信することができます。

メールドライバの設定と メールテンプレートの作成

トークンの払い出し

ディシジョンテーブル作成

ディシジョンテーブルファイル作成 ※エクセル操作

ディシジョンテーブルファイルの
アップロード

テストリクエスト

プロダクション適用

curlコマンドによるリクエスト送信

アクション実行結果の確認

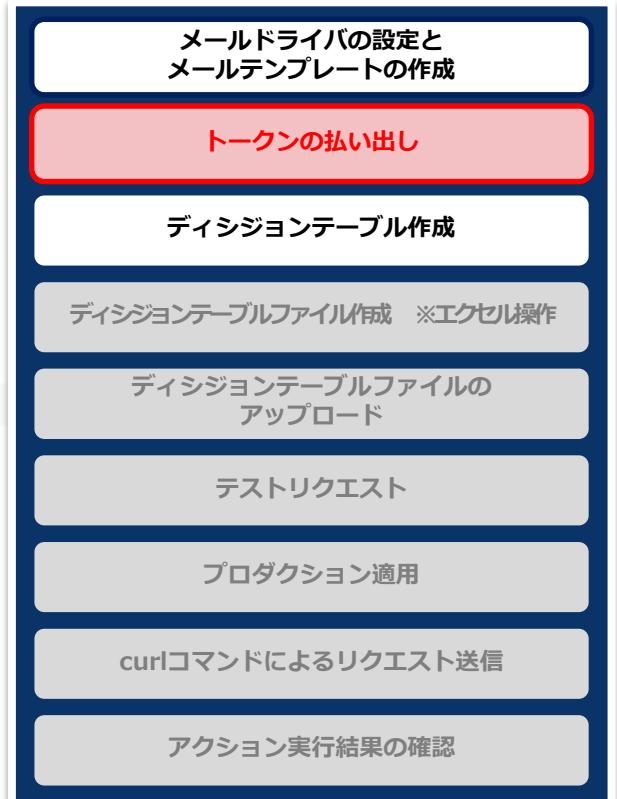
POINT

* のつく項目は入力必須です。

3.2 トークンの払い出し

新規トークンの払い出しを実施

- ① 「新規トークン払い出し」ボタンを押下
- ② 「新規トークン払い出し」画面で必要情報を入力
- ③ 「トークン払い出し」ボタンを押下
- ④ 「トークン」画面に表示されるトークンをコピーして保持する
- ⑤ 「閉じる」ボタンを押下



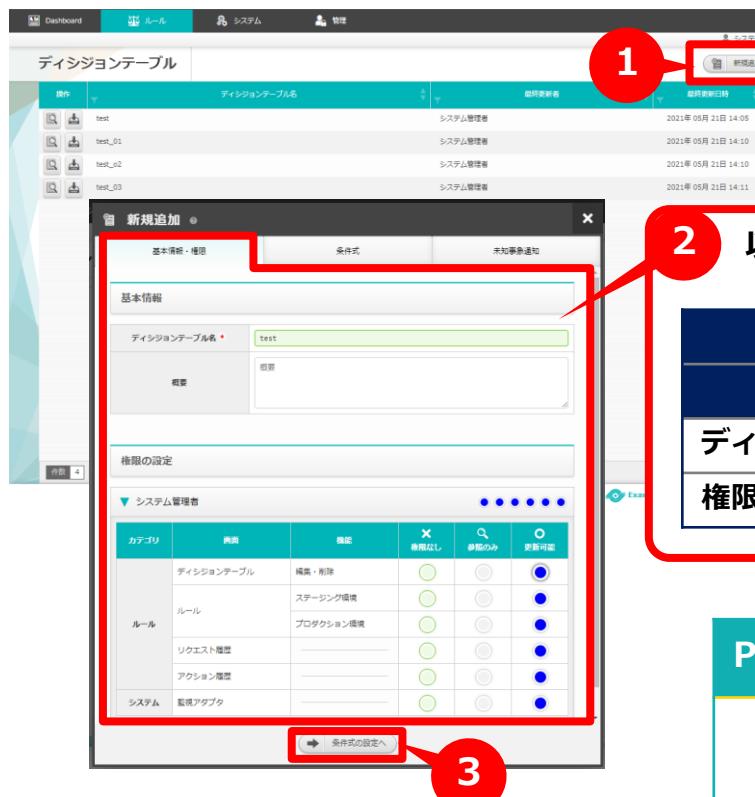
POINT

トークンは後述する<curlコマンドによるリクエスト送信>時に使用するため設定が必要です。

3.3 ディシジョンテーブル作成 (1/2)

ディシジョンテーブル（「基本情報・権限」）を作成

- ① 「ディシジョンテーブル」画面の「新規追加」ボタンを押下
- ② 「新規追加」画面の「基本情報・権限」タブに必要情報を入力
- ③ 「条件式の設定へ」ボタンを押下



2 以下の値を入力する

「基本情報・権限」タブ

項目	設定値
ディシジョンテーブル名	(任意の文字列)
権限の設定	システム管理者：全て「更新可能」

POINT

「権限の設定」では最低でも1グループは必ず「更新可能」を設定してください。ディシジョンテーブルの更新ができないになります。

メールドライバの設定と
メールテンプレートの作成

トークンの払い出し

ディシジョンテーブル作成

ディシジョンテーブルファイル作成 ※エクセル操作

ディシジョンテーブルファイルの
アップロード

テストリクエスト

プロダクション適用

curlコマンドによるリクエスト送信

アクション実行結果の確認

POINT

* のつく項目は入力必須です。

3.3 ディシジョンテーブル作成 (2/2)

ディシジョンテーブル（「条件式」・「未知事象通知」）を作成

- ④ 「新規追加」画面の「条件式」タブに必要情報を入力
- ⑤ 「未知事象通知の設定へ」ボタンを押下
- ⑥ 「新規追加」画面の「未知事象通知」タブに必要情報を入力
- ⑦ 「保存」ボタンを押下

The screenshot shows the 'New Addition' dialog box with two tabs: 'Conditions' and 'Unknown Event Notification'. The 'Conditions' tab is active, showing a table with columns 'Item' and 'Value'. The 'Value' column contains '(任意の文字列)' for 'Condition Name' and 'プルダウン選択' for 'Condition Type'. A red box labeled '4' highlights this table. The 'Unknown Event Notification' tab is also shown, with a table where the 'Value' column for 'Unknown Event Notification' is set to '通知しない' (Do Not Notify). A red box labeled '6' highlights this table. A red arrow points from the '6' box to the 'Unknown Event Notification' tab. At the bottom of the dialog, a red box labeled '5' highlights the 'Unknown Event Notification Setting' button, and another red box labeled '7' highlights the 'Save' button.

項目	設定値
条件名	(任意の文字列)
条件式	プルダウン選択

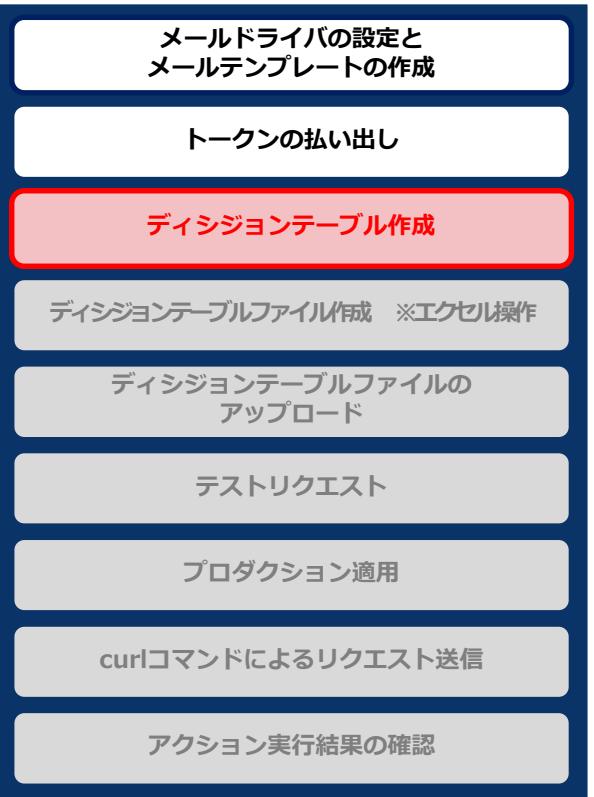
上記の値を入力する

項目	設定値
未知事象通知	「通知しない」を選択

上記の値を入力する

POINT

設定した条件式には、後述するディシジョンテーブルファイルの「条件部」で具体値を設定します。



POINT

* のつく項目は入力必須です。

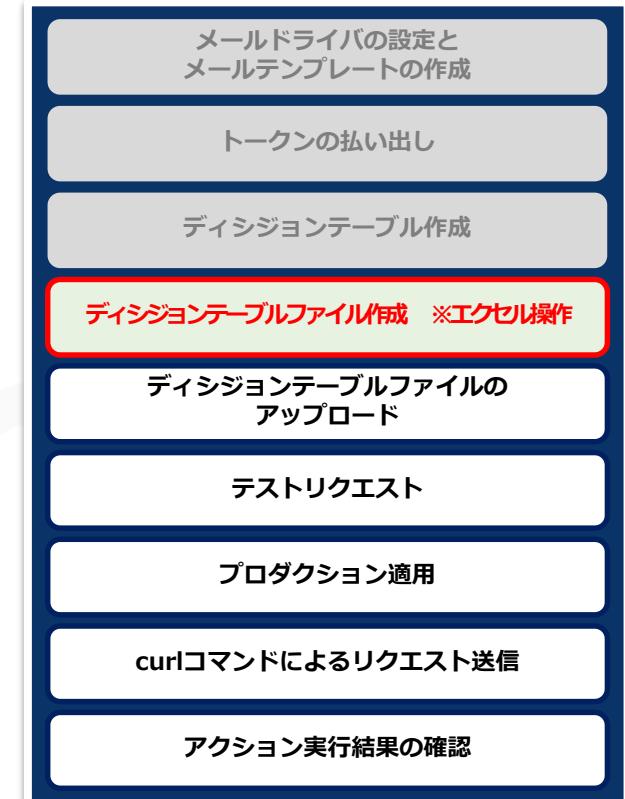
4. 作業実行

4.1 ディシジョンテーブルファイル作成 ※エクセル操作(1/2)

ディシジョンテーブルファイルのダウンロードおよび作成

- 前述の<[3.3 ディシジョンテーブル作成](#)>で作成したディシジョンテーブルの「ダウンロードボタン」を押下しディシジョンテーブルファイルをダウンロードする。

操作	ディシジョンテーブル名	最終更新者	最終更新日時
	test	システム管理者	2021年 05月 21日 14:05
	test_01	システム管理者	2021年 05月 21日 14:10
	test_o2	システム管理者	2021年 05月 21日 14:10
	test_03	システム管理者	2021年 05月 21日 14:11



POINT

ディシジョンテーブルファイルの名前は自動生成されます（例「id000000000000.xlsx」）。
先述の「ディシジョンテーブル名」とは異なります。各項目の記述内容については次のページで説明します。

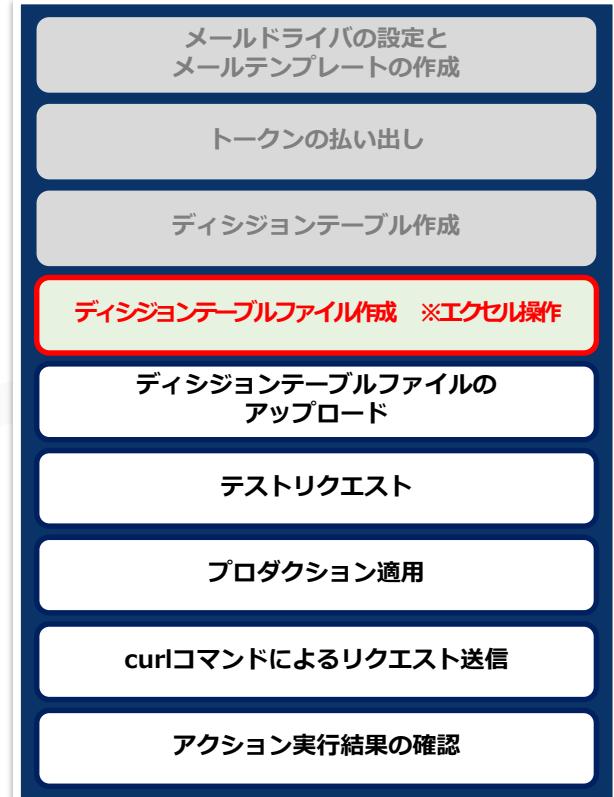
4.1 ディシジョンテーブルファイル作成 ※エクセル操作(2/2)

ディシジョンテーブルファイルに以下の内容を記述作成

※具体的なディシジョンテーブルファイルの記述例は後述の[付録 サンプル1](#)を参照

ルール説明	メッセージの (新しい)数値	ルール名 (必須)	アクション種別 (必須)	アクションパラメータ情報(必須) ※ダブルクオーテーションは使用不可 ※不要の場合は「X」を定義	アクション実行前パラメータ情報(必須) ※ダブルクオーテーションは使用不可 ※不要の場合は「X」を定義	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
メッセージA	10001	ruleA	mail(ver1)	MAIL_NAME=oasetest,MAIL_TO=sample@example.com,MAIL_CC=,MAIL_BCC=,MAIL_TEMPLATE=test template	X	1	1	0	0	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
メッセージB	0	ruleB	mail(ver1)	MAIL_NAME=oasetest,MAIL_TO=sample@example.com,MAIL_CC=,MAIL_BCC=,MAIL_TEMPLATE=test template	X	1	1	0	0	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
メッセージC	555	ruleC	mail(ver1)	MAIL_NAME=oasetest,MAIL_TO=sample@example.com,MAIL_CC=,MAIL_BCC=,MAIL_TEMPLATE=test template	X	1	1	0	0	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X

①コメント部	空白可。説明文など、自由なテキスト記述に使用可能。
②条件部	ルールがマッチングする条件を作成する。
③アクション部	<ul style="list-style-type: none">ルール名ごとにどのようなアクションを実行するか設定可能。アクションを実行してもよいか、事前承認メールを送る設定も可能。「アクション種別」に指定可能なのは「アクション設定」画面で登録したドライバのみ。 (クリックスタートでは「mail Driver ver1」を指定)アクション種別ごとに「アクションパラメータ情報」の書き方が異なるため要注意。
④アクション条件部	空白可。ルールを適用する期間の始まりから終わりまでを設定することが可能。



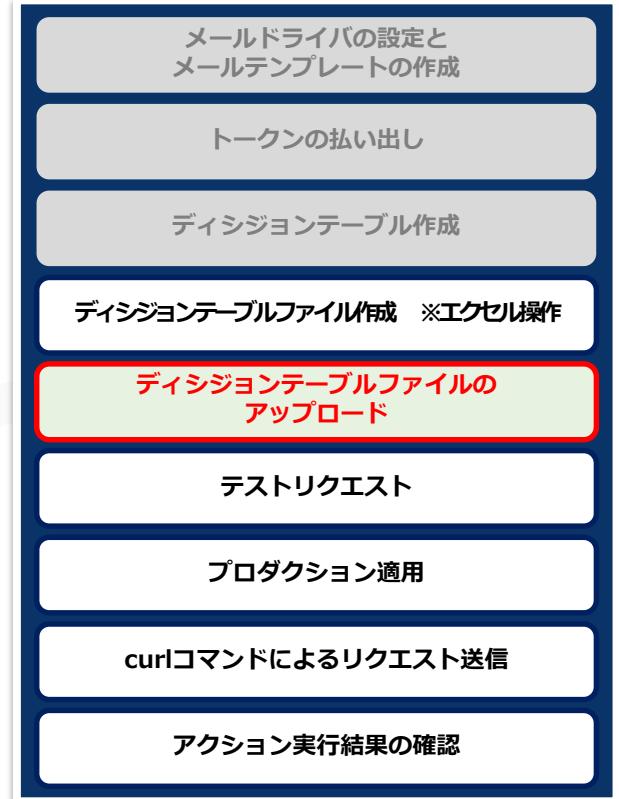
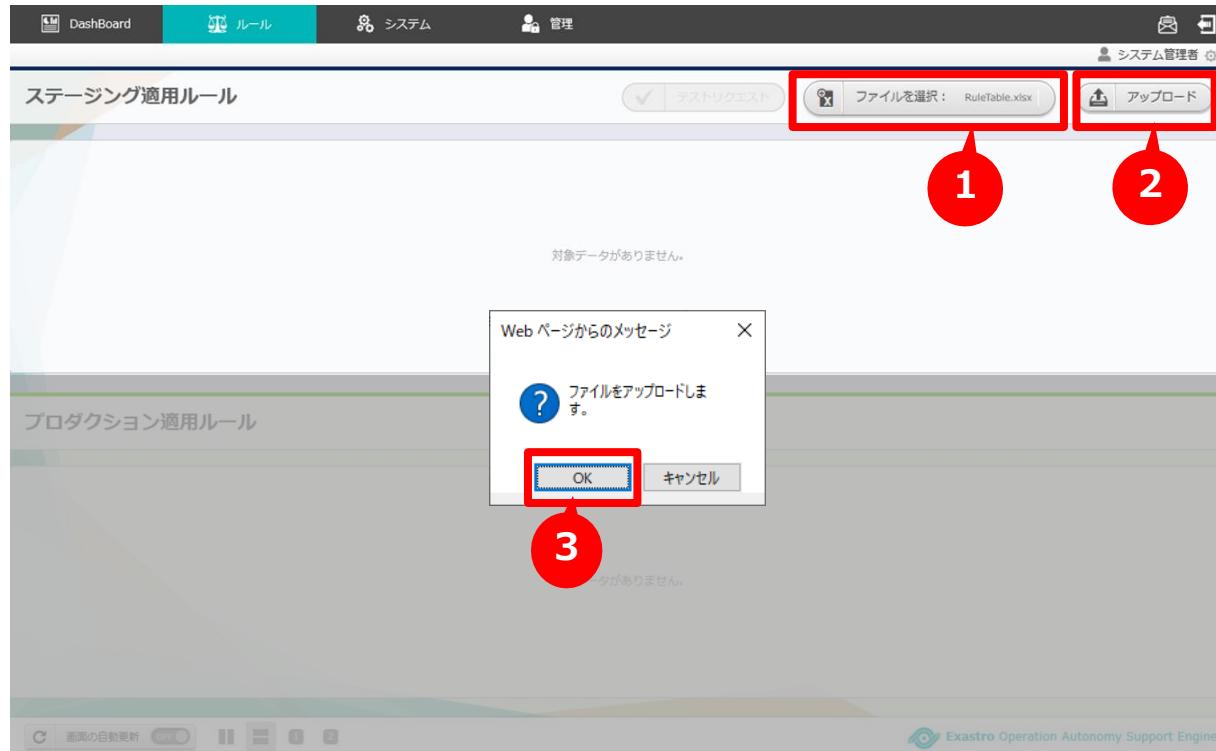
POINT

値の記述方法はディシジョンテーブルファイルの「記述例」シートを参照ください。
ディシジョンテーブルファイルの更新後、任意の名称にファイル名を変更することができます。

4.2 ディシジョンテーブルファイルのアップロード

【手順】テストリクエストしたいディシジョンテーブルファイルを選ぶ

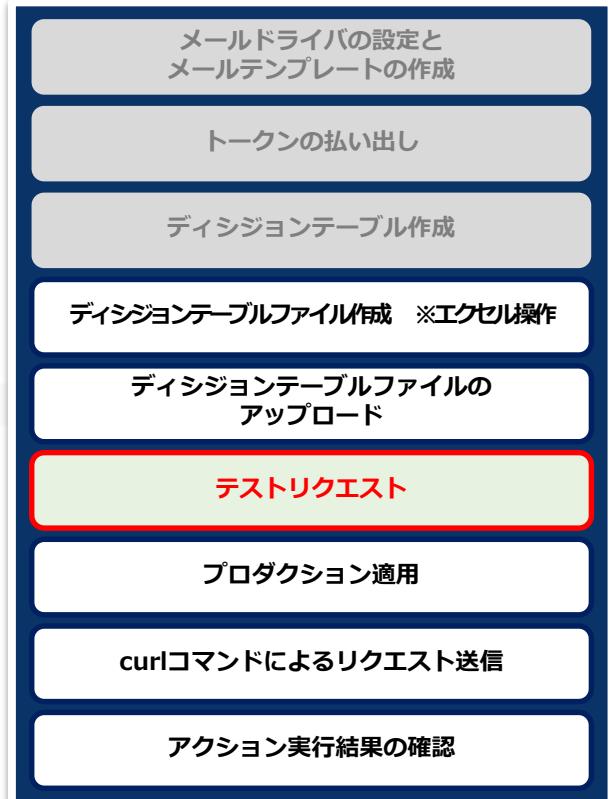
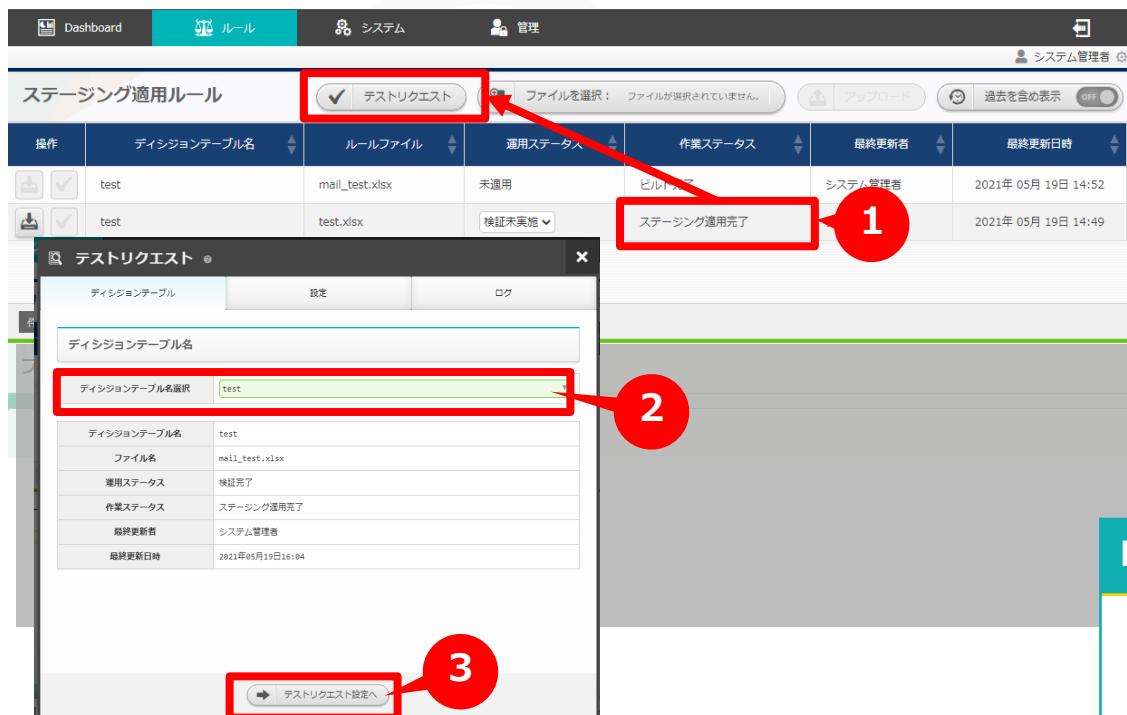
- ① 「ルール」画面の「ファイルを選択」ボタンを押し作成したディシジョンテーブルファイルを選択
- ② 「アップロード」ボタンを押下
- ③ ダイアログの「OK」ボタンを押下



4.3 テストリクエスト(1/3)

テストリクエスト対象の選択

- ① 「作業ステータス」欄が「ステージング適用完了」に遷移後「テストリクエスト」ボタンを押下
- ② 「ディシジョンテーブル」タブの「ディシジョンテーブル名選択」欄にて、テストしたいディシジョンテーブル名を選択
- ③ 「テストリクエスト設定へ」ボタンを押下



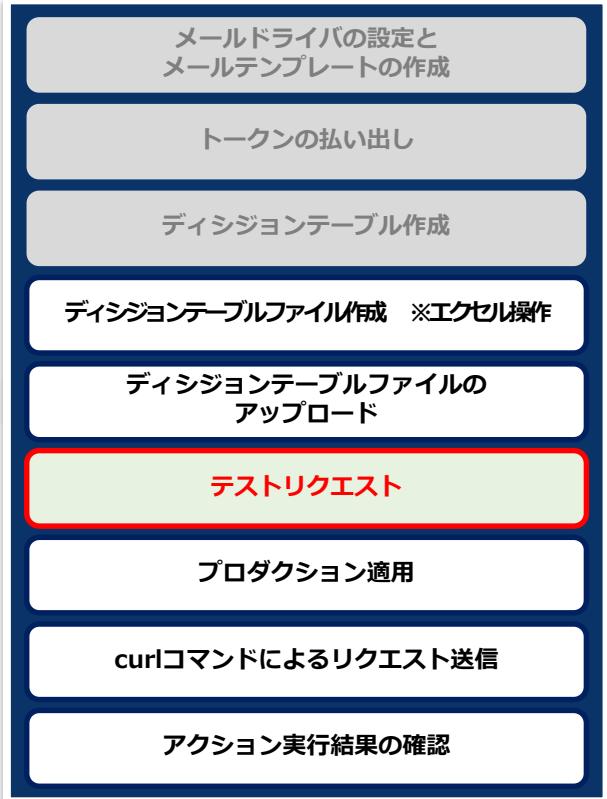
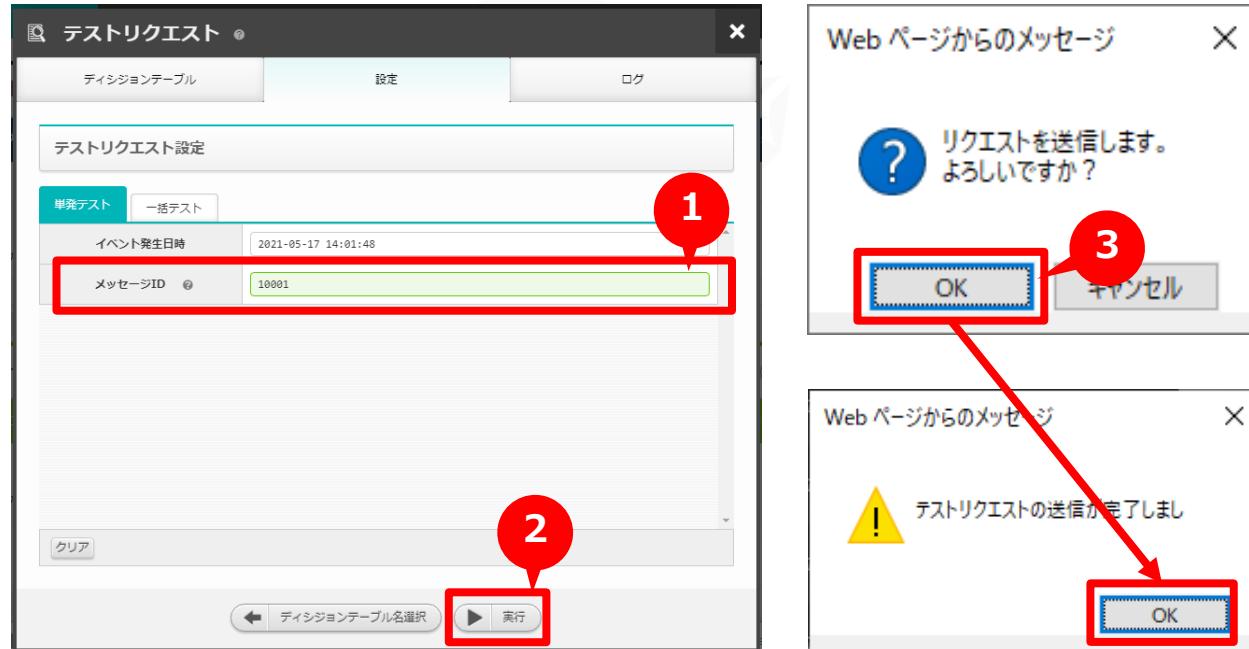
POINT

作業ステータスは5秒間隔で自動的に更新されます。
作業ステータスの遷移については<[利用手順マニュアル - ルール画面編- \(1\)ルール画面\(ステージング\)](#)>を参照ください。

4.3 テストリクエスト(2/3)

テストで値を入れて実行する

- ① 「設定」タブ内にて「単発テスト」タブの入力欄に、作成したルールに合致する値を入力
- ② 「実行」ボタンを押下
- ③ ダイアログの「OK」ボタンを押下



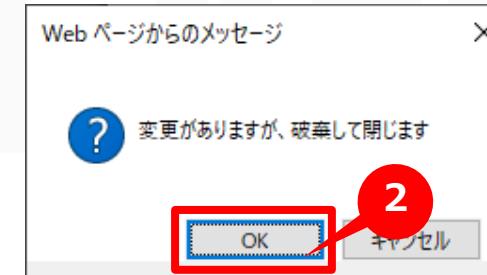
POINT

作成したディシジョンテーブルファイルの「条件部」に合致する値か否かテストします。

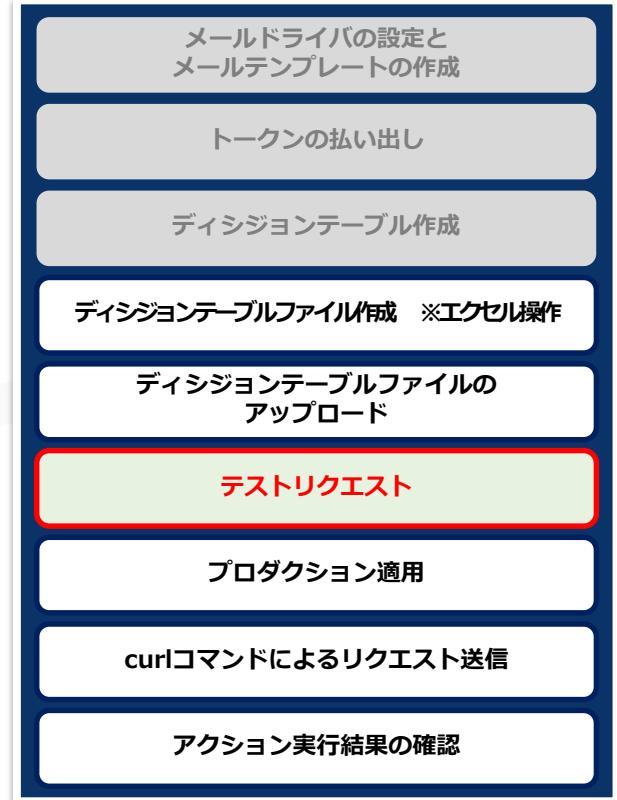
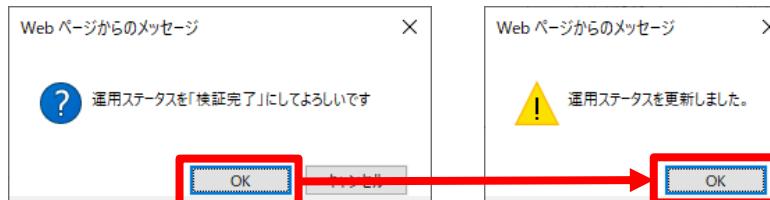
4.3 テストリクエスト(3/3)

ルールが有効か確認する

- 「ログ」タブの「実行ログ」欄にてログを確認
- 「閉じる」ボタンを押下
 - ダイアログの「OK」ボタンを押下



- 正常に処理されルールがマッチングした場合
- ダイアログの「OK」ボタンを押下



POINT

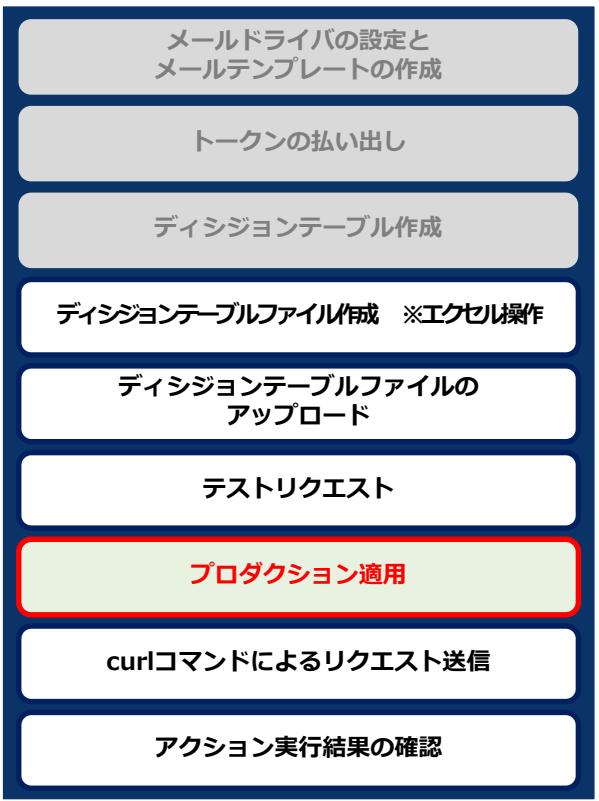
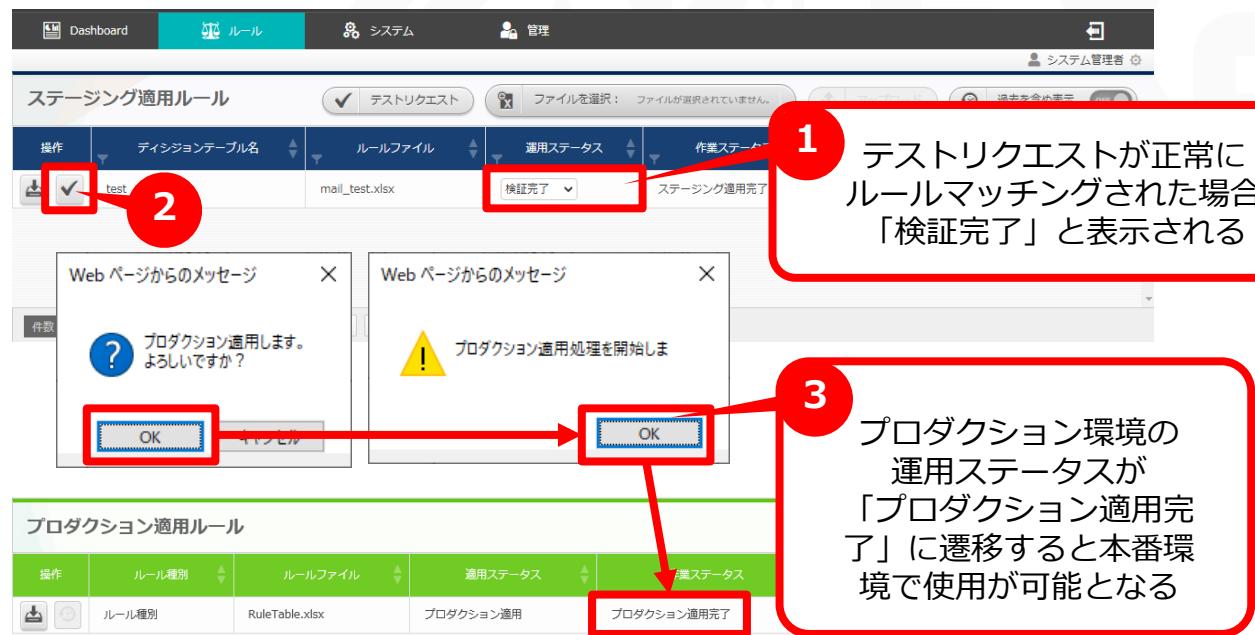
前述の<[4.1 ディシジョンテーブルファイル作成](#)>で作成したルールに合致する場合、「実行ログ」欄に「正常に処理されました」「マッチングされました」と表示されます。
ルールがマッチングすると「運用ステータス」が次のステータスに移ります。

4.4 プロダクション適用

検証完了したルールを本番環境で使用できるようにする

- ルールを本番環境で使用できるようにするために「ステージング適用ルール」から「プロダクション適用ルール」に適用させる。

- 「ステージング適用ルール」の「運用ステータス」欄が「検証完了」に遷移していることを確認
- 「操作」欄の「適用ボタン」を押下
- ダイアログの「OK」ボタンを押下



POINT

作成した作業ステータスは5秒間隔で自動的に更新されます。作業ステータスの遷移については<[利用手順マニュアル -ルール画面編- \(2\)ルール画面\(プロダクション\)](#)>を参照ください。

4.5 curlコマンドによるリクエスト送信(1/2)

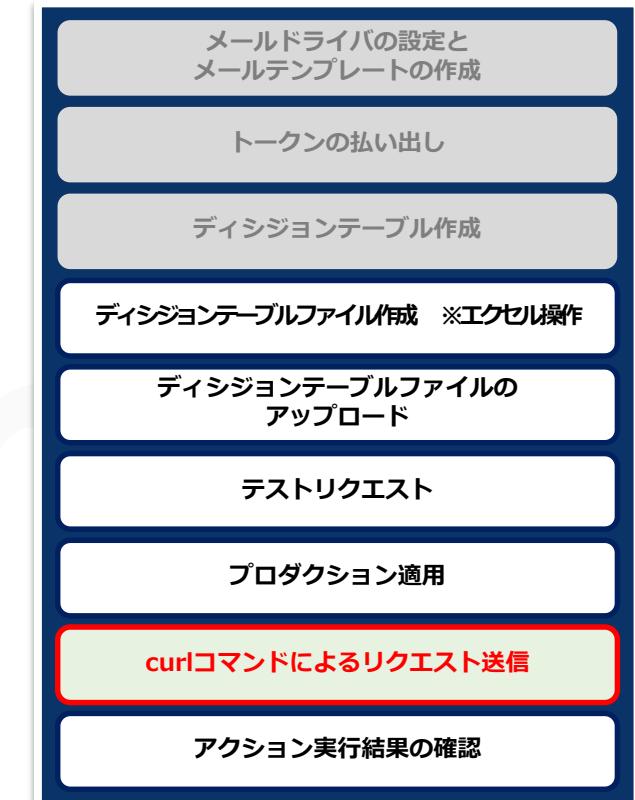
メッセージを投入しプロダクション適用ルールとマッチングさせる

- ターミナルを開き、以下のコマンドをルールに合わせ書き換えたうえで実行する。

```
curl -X POST -k "https://<①ホスト名>/oase_web/event/event/eventsrequest" ¥  
    -H "accept: application/json" ¥  
    -d '{"decisiontable":"<②ディシジョンテーブル名>","requesttype":"<③リクエスト種別  
>","eventdatetime":"<④イベント発生日時>","eventinfo":["<⑤イベント情報>"]}' ¥  
    -H "Authorization: Bearer <⑥トークン>"
```

① ホスト名	OASEサーバのホスト名、IPアドレスを入力
② ディシジョンテーブル名	プロダクション適用済みのディシジョンテーブル名を入力
③ リクエスト種別	投入先「1:プロダクション」の「1」を入力 例) "requesttype":"1"
④ イベント発生日時	「yyyy/mm/dd hh:mm:ss」形式で日付を入力 例) "eventdatetime":"2020/01/01 01:01:01"
⑤ イベント情報	リスト形式で指定 例) ["2","Event"]
⑥ トークン	「トークン払い出し」画面で払い出したトークンを入力

※curlコマンドの使用例は後述の[付録 サンプル1](#)を参照



POINT

HTTPSリクエストの詳細については
[<RestAPI機能 利用マニュアル>](#)を参
照してください。

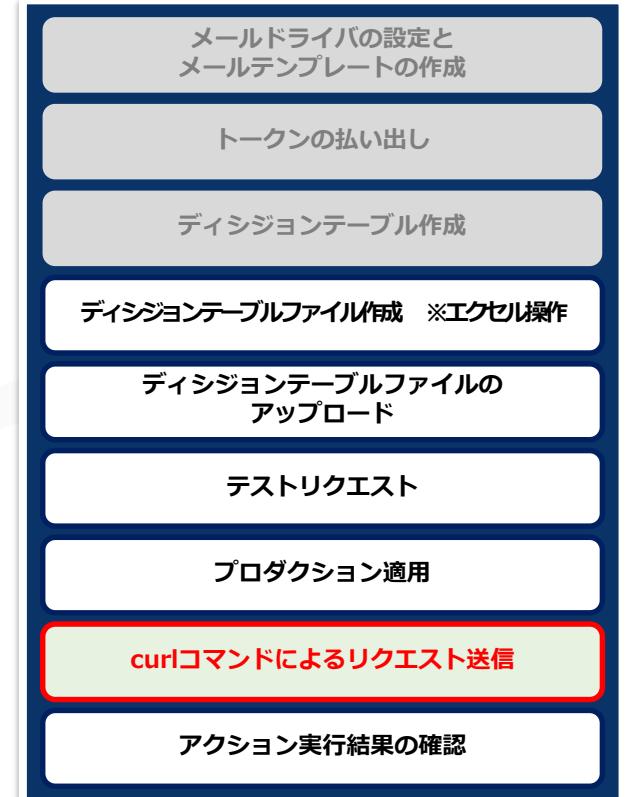
4.5 curlコマンドによるリクエスト送信(2/2)

「リクエスト履歴」画面を確認

- curlコマンドでパラメータを指定しリクエスト送信した履歴が追加される。

ルールマッチ状況	リクエスト種別	ディシジョンテーブル名	リクエスト受信日時	イベント情報	イベント発生日時	イベントシリアルNo.
	プロダクション環境	test	2021年5月21日17:32	{"EVENT_INFO": ["10001"]}	2018年12月13日15:16	TOS_20210521083209463771_000001
	プロダクション環境	test	2021年5月21日16:11	{"EVENT_INFO": ["10001"]}	2018年12月13日15:16	TOS_20210521071156018059_000001
	ステーシング環境	test	2021年5月21日16:01	{"EVENT_INFO": ["10001"]}	2021年5月21日16:01	TOS_20210521070136467024_000001
	ステーシング環境	test	2021年5月21日15:46	{"EVENT_INFO": ["10001"]}	2021年5月21日15:45	TOS_20210521064605006700_000001

※ 「リクエスト履歴」画面で表示する項目数は変更可能



4.6 アクション実行結果（アクション履歴）の確認

アクション実行

- ルールマッチした場合、事前設定で設定したとおりアクションが実行（メール通知）され、「アクション履歴」画面で結果が確認できる。
- 前述した<[4.1 ディシジョンテーブルファイル作成](#)>のアクション部にて設定した内容でアクションが実行される（mail Driver で指定したとおりメールが通知される）。

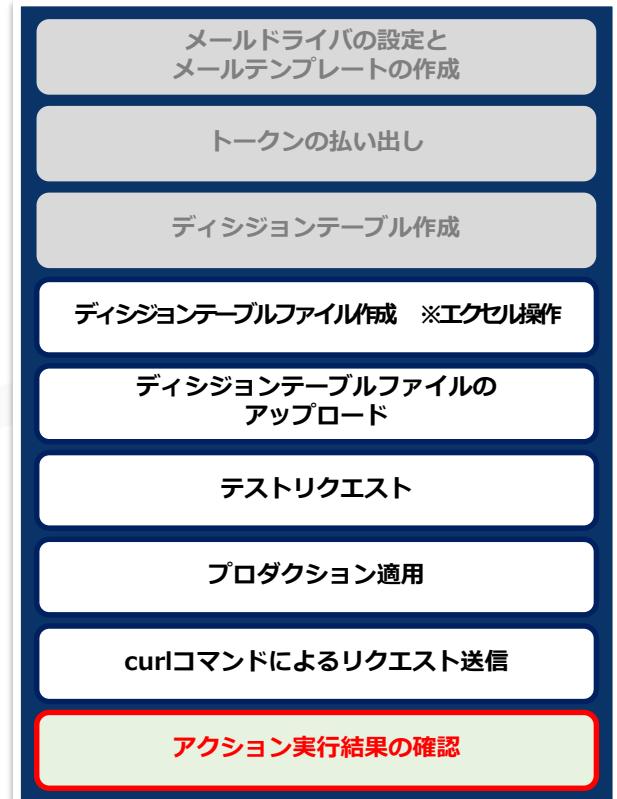
メール通知

- 前述した<[3.1 メールドライバの設定とメールテンプレートの作成](#)>で設定した件名・本文のメールが届く。

アクション履歴

- ルールマッチングし実行されたルールが「アクション履歴」画面に表示されていることを確認する。

状態	操作	ディシジョンテーブル名	ルール名	アクション種別	最終実行日時	最終実行者
✓		test	ruleA	mail(ver1)	2021年 05月 24日 11:51	アクションドライバープロシージャ
✓		test	ruleA	mail(ver1)	2021年 05月 21日 18:59	アクションドライバープロシージャ
✓		test	ruleA	mail(ver1)	2021年 05月 21日 18:45	アクションドライバープロシージャ



A 付録



サンプル1(1/4)

サンプル値を入力しOASEを実行する

- 「メッセージID：10001」という情報をOASEが受け取った時、「件名：【OASE】通知テスト」「本文：[リクエスト情報][イベント情報]」という内容のメールが送信されるアクションを実行させたい

【事前設定】

① 「アクション設定」画面

- 「mail Driver ver1」を用意する

名前	oasetest
SMTPサーバ	X.X.X.X
ユーザ名	sample@example.com
パスワード	(空白)

(他、必要情報を登録)

- 「メールテンプレート」を作成する

テンプレート名	test_template
件名	【OASE】通知テスト
本文	[ACTION_INFO] [EVENT_INFO]

② 「トークン払い出し」画面

- curlコマンドによるリクエスト送信時に必要なトークンを用意する

トークン名	test_token
-------	------------

(他、必要情報を登録)

POINT

本書内<[3.1 メールドライバの設定とメールテンプレートの作成](#)>および<[3.2 トークンの払い出し](#)>の範囲です。

サンプル1(2/4)

③ 「ディシジョンテーブル」画面

- 「メッセージID」が合致条件となるルールを作成する

ディシジョンテーブル名	test
権限の設定（システム管理者）	全て「更新可能」
条件名	メッセージID
条件式	等しい(数値)

POINT

本書内<[3.3 ディシジョンテーブル作成](#)>および
<[4.1 ディシジョンテーブルファイル作成 ※エクセル操作](#)>の範囲です。

④ ディシジョンテーブルファイル

- ディシジョンテーブルファイルをリネームして保存する

ファイル名 mail_test.xlsx

- 「メッセージID：10001」がヒットするルールを作成する

※赤字箇所はご変更ください。

メッセージID（等しい(数値)）	10001
アクション種別	mail(ver1)
アクションパラメータ情報	MAIL_NAME=oasetest,MAIL_TO=<受信可能なメールアドレス>,MAIL_CC=,MAIL_BCC=,MAIL_TEMPLATE=test_template

(他、ディシジョンテーブルファイルの「シート：記述例」を参考に必要情報を登録)

⑤ 「ルール（ステージング適用ルール）」画面

- 作成したディシジョンテーブルファイルをアップロードする

ファイルを選択

mail_test.xlsx

POINT

本書内<[4.2 ディシジョンテーブルファイルのアップロード](#)>および<[4.3 テストリクエスト](#)>の範囲です。

⑥ 「テストリクエスト」画面

- アップロードしたディシジョンテーブルファイルにリクエスト「メッセージID：10001」が来た場合、ルールがマッチングするかテストする

ディシジョンテーブル名選択	test
メッセージID	10001

サンプル1(4/4)

【作業実行】

⑦ ターミナル操作 (Linuxサーバ)

- 用意したルールに対しcurlコマンドでリクエストを投げる **※赤字箇所はご変更ください。**

```
curl -X POST -k "https://<Hostname>/oase_web/event/event/eventsrequest" ¥  
-H "accept: application/json" -H "Authorization: Bearer <Access_Token>" ¥  
-d '{"decisiontable":"test","requesttype":"1","eventdatetime":"2020/01/01 01:01:01","eventinfo":["10001"]}'
```

⑧メール通知

右記情報の
メールが
届いたことを
確認する

件名	【OASE通知テスト】
	[リクエスト情報] トレースID ディシジョンテーブル名 リクエストユーザ リクエストサーバ
本文	[イベント情報] イベント発生日時 条件名 メッセージID



POINT

本書内<[4.5 curlコマンドによるリクエスト送信](#)>および<[4.6 アクション実行結果（アクション履歴）の確認](#)>の範囲です。



Exastro 